第4章　子どもの病気・予防接種

（担当：保健センター　TEL82－3761）

予防接種は、予防接種法に基づき、次のとおり定期予防接種と任意予防接種があり、お子さんの体調のよいときに、対象年齢や接種方法を守って接種してください。
赤ちゃんは特に病気に対する抵抗力がありません。

定期予防接種

種　類	対象年齢	回　数	標準的な接種時期
ロタウイルスワクチン（1価）	生後6週～24週	2回	・1回目は、生後20週までに ・4週間以上の間隔をおいて2回目
B型肝炎	生後2か月～1歳未満	3回	1回目：生後2か月から 2回目：1回目接種から27日以上 3回目：1回目接種から139日以上の間隔
小児用肺炎球菌	生後2か月～5歳未満	初回3回	・初回接種開始は生後2か月～7か月
		追加1回	・生後12か月～15か月 ・ただし、初回（3回）終了後、60日以上の間隔をおく
Hib（ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ菌B型）	生後2か月～5歳未満	初回3回	・初回接種開始は生後2か月～生後7か月
		追加1回	・初回終了後7か月経過後～13か月
四種混合（ｼﾞﾌﾃﾘｱ・百日咳・破傷風・不活化ﾎﾟﾘｵ）	生後2か月～7歳6か月未満	1期初回3回	・生後2か月～生後12か月
		1期追加1回	・3回目の接種終了後12か月～18か月の間隔をおく
五種混合（ｼﾞﾌﾃﾘｱ、百日咳、破傷風、不活化ﾎﾟﾘｵ、Hib） ※令和6年4月1日以降に接種を開始するお子さん	生後2か月～7歳6か月未満	1期初回3回	・初回接種開始は生後2か月～生後7か月
		1期追加1回	・3回目の接種終了後6か月～18か月の間隔をおく
BCG（結核）	生後5か月～1歳未満	1回	・生後5か月～8か月
麻疹・風疹（MR）	1歳～2歳未満	1期1回	・1歳～2歳未満
	5歳～7歳未満	2期1回	・5歳～7歳未満（年長児）
水　痘（水ぼうそう）	1歳～3歳未満	1回目	・生後12か月～15か月
		2回目	・1回目接種終了後、6～12か月の間隔をおく

日本脳炎	3歳～7歳6か月未満	1期2回	・3歳～4歳
		1期追加	・4歳～5歳
	9歳～13歳未満	2期1回	・9歳～10歳
二種混合 （ｼﾞﾌﾃﾘｱ・破傷風）	11歳～13歳	1回	・小学校6年生になる年度
子宮頸がん ワクチン	小学6年生～ 高校1年生の 女子	3回	・小学校6年生になる年度～高校1年生になる年度

任意予防接種

	対象年齢	回　数	標準的な接種時期
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	1歳以上	1回	・1歳以上の未罹患者
インフルエンザ ワクチン	生後6か月～	1回又は 2回	・65歳以上の方は、定期接種 ・上記以外は、任意接種 ・13歳未満は2回接種
新型コロナ ワクチン	生後6か月～	回数・接種時期は年齢により異なりますので、 ご希望の方は保健センターへお問合せください。	

子どもがかかりやすい病気

病気	症　　状
麻しん （はしか）	約10～12日間の潜伏期間後、発熱、せき、鼻汁、目やに、発しんが出ます。最初の3～4日は38度前後の熱が出て、一時的に熱が治まったかと思わせ、再び39～40度の高熱と発しんが出てきます。 高熱は3～4日続いた後下がり、発しんもしだいに消えていきます。
風しん （三日はしか）	麻しんに似た発しんが見られますが、数も少なめです。潜伏期間は14～21日です。せき、鼻水はわずかで、2～3日で発しんが消えます。
手足口病	口の中の粘膜や手足の末端に発しんが現れる病気です。潜伏期間は2～7日です。伝染力が強く、夏に多い病気です。発しんは1週間程で消えますが、口の中にできた水泡が破れ、痛むことがあります。
水ぼうそう	12～21日間の潜伏期間のあと、軽い発熱に始まり、全身に発しんが広がります。水泡になり、全てかさぶたになったら感染力はなくなります。かゆがるので、手指を清潔にして、他の子との接触を避けるようにしましょう。
溶連菌感染症	2～5日の潜伏期間の後、のどの痛みや高熱、おう吐、発しんがみられます。舌が赤くぶつぶつになることもあります。